

あたらしいこと、はじめよう。

㈱デンソーを退職後、わくわくセンター(安城市民活動センター)のセンター長に。市民のボランティア活動をサポートする。



野村剛生さん(姫小川町)

■きっかけは…
わたしの会社生活は大きく分けて三つ。まず始めの10年は、基礎技能の期間。デンソー社内の設備を作るセクションで組み立て機械の製作を。次の16年は、デンソー学園の指導員として。そして、後の10年は、現場のモノづくりに携わっていました。

その会社生活の中で、会社が社会貢献活動を行うようになってきたこともあり、ボランティアに携わる機会がありました。具体的には、ガレージセールで不要なものを売って、その売り上げを寄付していたのです。そのときの体験が、わくわくセンターでの活動につながったと思います。



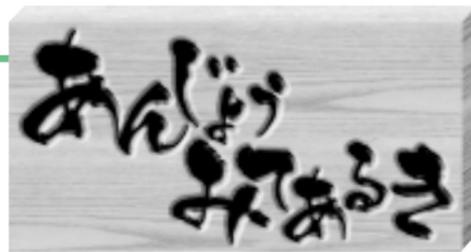
■わくわくセンターのスタッフとして
わくわくセンターにやってきて、2年が過ぎました。今、感じていることは「わたしたちが利用者を支援している」のではなく「わたしたちが利用者に支援されている」ということです。こういったボランティアの支援センターでは、利用者を呼び込まなければ人が集まらないケースが多いように感じます。しかし、このわくわくセンターには、例え黙っていたとしても、次々にみんなが集まってくるのです。また、単に人が集まるだけでなく、その活動内容にも手ごたえを感じています。

例えば、あるイベントでちょっとした出し物をして欲しいという話があれば、「催しをやってくれそうだな」と思う団体に「こんな話があるけれど、どうですか?」と聞けばすぐに動いてく

れます。わたしたちのちよっとしたヒントで、動きが生まれてくるのです。これも、それぞれの団体が実際に行動を起こしてくれているおかげだと思います。

■これから退職する人へ
これまで会社中心の生活を送っていた人は、とにかくこういった場に足を向ける暇がなかったと思います。でも退職してやることなくなると家でゴロゴロ…。そのうちに身を置く場所がなくなってしまうのです。以前、退職した夫のことで、奥さんがわくわくセンターへ相談に来た、ということもありました。でも、いきなり「市民活動に参加しましょう」「ボランティア活動をししましょう」と言っと、一歩ひいてしまふ人がほとんどだと思います。そこで大事なことは、まずわくわくセンターに「顔を出す」こと。いろんな人と顔見知りになれば、そこから何かの活動につながってくるはずですよ。

筆者のつぶやき
ボランティア活動は、ただ何かをするだけでなく、活動の始まりから終わりのサイクルを考えるべきと話す野村さん。それができたら、次は、少しずつ効率を考えて各プロセスを見直していくそうです。これってつまりトヨタ式のカイゼン? さすがは、元デンソーマン。勉強になりました。

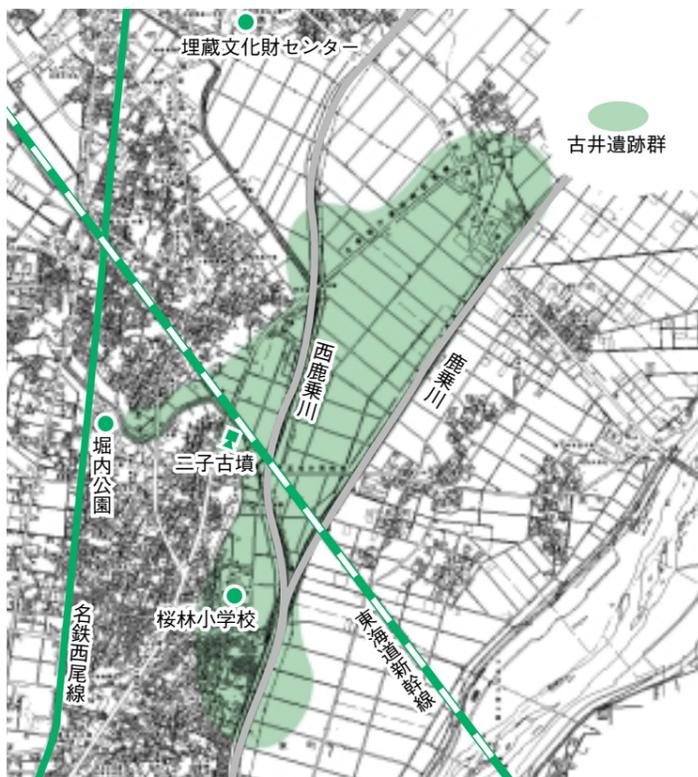


その45

古井遺跡群 西三河の中心集落がそこに眠っている!

市内東部を流れる鹿乗川沿いで発見されているたくさん遺跡。その中でも、二子古墳(桜井町)の東側に広がる20か所ほどの遺跡をまとめて古井遺跡群と呼んでいます。この遺跡群は、日本最大級の遺跡である佐賀県の吉野ヶ里遺跡に匹敵すると言っても過言ではありません。

この存在が明らかになったのは昭和32年ごろのこと。うわさで「畑から土器の破片が出てくる」と聞いたわたしは、土器の収集を始めました。考古学の先生に見せたところ、それが弥生式であると判明。そして「ここには遺跡があるから、大事にしておくように」と言われたため、遺物を集めては、記録に残していました。



そのうちに「骨針」と呼ばれる鹿の骨で作った針を発見し、昔の人の生活を感じることができました。以降の発掘に、より熱が入ったのを覚えています。

その後、市によって本格的な発掘調査が行われ、広範囲にわたる遺跡

群の存在が明らかになりました。この遺跡群は弥生古墳時代にかけて西三河の中心的な集落であったと考えられています。それは、①膨大な量の土器などの遺物が出土している。②近畿・北陸・近江・尾張・駿河などの土器が出土し、情報や物資の交流拠点であったことが分かる。③近くには、古墳時代前期としては東海地方最古で最大級の前方後方墳である二子古墳がある。

弥生時代に人が定住するようになり、定住して集落ができる人々をまとめる人が現れました。その中でも人望を集めた人が地域の支配者となり、亡くなる際に古墳へ祀られたのです。二子古墳の大きさからも、相当な権力者がいて、そこには大集落があったことが容易にわかります。現在は平坦な田園風景になっています。



今月の案内人
鈴木和雄さん(桜井町)

ですが、その田んぼの下には2000年前の人間が生きた証が眠っているのです。二子古墳の頂上立って目を閉じると、下界に広がった古代文化の最先端都市がまぶたに浮かんでくるかもしれません。

※発掘された土器などは、市の埋蔵文化財センターで展示しています。

◎左の写真の遺物は、古井遺跡群から見つかったもの



日本最古級の墨書土器



日本最古級の横櫛